

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024 年 6 月 27 日

堺 市 長 殿

提出者
住 所 大阪府堺市美原区多治井148-1
氏 名 株式会社 三洋化学研究所 大阪工場
 丸茂 正光
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 072-361-6633

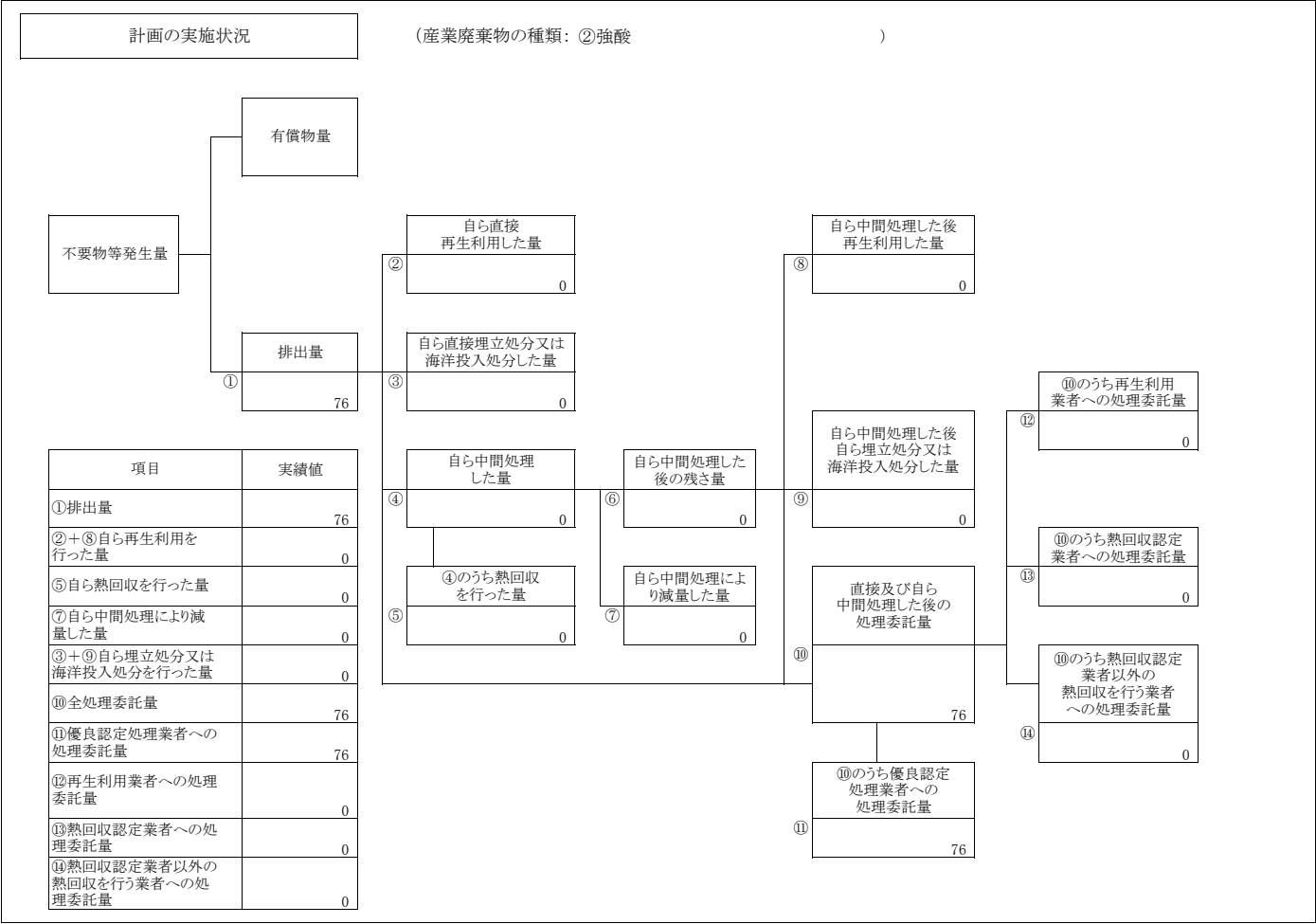
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、 令和 5年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	株式会社 三洋化学研究所 大阪工場
事 業 場 の 所 在 地	大阪府堺市美原区多治井148-1
事 業 の 種 類	16:化学工業
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	2023年4月～2024年3月

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	553t	全 処 理 委 託 量	553t
自 ら 再 生 利 用 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	500t
自 ら 熱 回 収 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	250t
自 ら 中 間 処 理 に よ り 減 量 す る 産 業 廃 棄 物 の 量	t	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	20t
自 ら 埋 立 処 分 又 は 海 洋 投 入 処 分 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t

※事務処理欄	
--------	--



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ③廃油(有害))

不要物等発生量

有償物量

①排出量

29

②自ら直接再生利用した量

0

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

0

④自ら中間処理した量

0

④のうち熱回収を行った量

0

⑥自ら中間処理した後の残さ量

0

⑦自ら中間処理により減量した量

0

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

0

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

0

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

29

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

0

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量

29

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

0

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

0

項目	実績値
①排出量	29
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	29
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	29
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ④汚泥(有害))

不要物等発生量

有償物量

排出量

①0

②自ら直接再生利用した量

0

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

0

④自ら中間処理した量

0

⑤④のうち熱回収を行った量

0

⑥自ら中間処理した後の残さ量

0

⑦自ら中間処理により減量した量

0

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

0

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

0

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

0

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫0

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬0

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭0

項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑤廃酸(有害))

不要物等発生量

有償物量

排出量

①0

②

自ら直接再生利用した量

0

③

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

0

④

自ら中間処理した量

0

⑤

④のうち熱回収を行った量

0

⑥

自ら中間処理した後の残さ量

0

⑦

自ら中間処理により減量した量

0

⑧

自ら中間処理した後再生利用した量

0

⑨

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

0

⑩

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

0

⑪

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

0

⑫

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

0

⑬

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

0

⑭

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

0

項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑥強酸(有害))

不要物等発生量

有償物量

排出量

①0

②

自ら直接再生利用した量

0

③

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

0

④

自ら中間処理した量

0

⑤

④のうち熱回収を行った量

0

⑥

自ら中間処理した後の残さ量

0

⑦

自ら中間処理により減量した量

0

⑧

自ら中間処理した後再生利用した量

0

⑨

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

0

⑩

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

0

⑪

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

0

⑫

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

0

⑬

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

0

⑭

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

0

項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 処 理 計 画 実 施 状 況 報 告 書 の 〔 別 紙 〕

送 出 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者の氏名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
特別管理産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する責任者の住所	特別管理産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する責任者の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪府堺市東区多治井148-1	株式会社 三洋化学研究所	製造部				

特別産業廃棄物の種類		計 算 の 要 素 等										送 出 者							受 入 者	
コード	名 称	①排出量	②自ら直接再々利用した量	③自己直接増設の又は海洋投入処分した量④	④自ら中間処理した量	⑤⑤のうち、中間処理を行った量⑥	⑥自ら中間処理した後の残存量	⑦⑦のうち、中間処理により減量した量⑧	⑧自ら中間処理した廃棄物を利用した量⑨	⑨自ら中間処理した廃棄物及び自ら再投入処分した量⑩	⑩直接及び自ら自己処理した後の残存量⑪	(算=①-②-③+④-⑤-⑥-⑦+⑧+⑨+⑩+⑪)				⑫+	⑬+			
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑫再生利用業者への処理委託量⑬	⑭再生利用業者以外の処理委託量⑮	⑯その他の中間処理委託量⑰	⑱再処分委託量⑲	⑳他国認定処理業者への処理委託量㉑	㉒+			
コード参照	特別管理産業廃棄物の種類	発生した特別産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理せず直接再々利用した量	①の量のうち、中間処理せず自ら増設の又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した量	①の量のうち、自ら中間処理を行った後の量	①の量のうち、自ら中間処理した後の残存量	①の量のうち、自ら増設の又は海洋投入に売却した量	①の量のうち、自ら増設の又は海洋投入に売却した量	①の量のうち、自ら増設の又は海洋投入に売却した量	①の量のうち、自ら増設の又は海洋投入に売却した量	①の量のうち、自ら増設の又は海洋投入に売却した量	①の量のうち、自ら増設の又は海洋投入に売却した量	①の量のうち、自ら増設の又は海洋投入に売却した量	①の量のうち、自ら増設の又は海洋投入に売却した量	①の量のうち、自ら増設の又は海洋投入に売却した量	①の量のうち、自ら増設の又は海洋投入に売却した量			
7000	①引火性廃油		296								296	188				296	0			
7100	②強酸		78								78					78	0			
7425	③廃油(有害)		28								28	28					0			
7426	④汚泥(有害)		0.0005								0.0005						0			
7427	⑤廃酸(有害)		0								0						0			
7110	⑥強酸(有害)		0								0						0			
㉑																	0			
㉒																	0			
㉓																	0			
㉔																	0			
㉕																	0			
㉖																	0			
㉗																	0			
㉘																	0			
㉙																	0			
㉚																	0			
㉛																	0			
㉜																	0			
㉝																	0			
㉞																	0			
合計			401	0	0	0	0	0	0	0	401	217	0	0	0	372	0			

(注1)トン単位は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。
(注2)上記の産業廃棄物の種類以外の排出実績があった場合は、必要に応じ、直接追加入力するとともに、第2面も追加してください。